

- ・コラム「魂を捨てたくなかったんでしょ？」(杉浦 良)
- ・お知らせ(おおたか静流ライブ)
- ・スタッフ雑感(桑内 一典)
- ・専任職員募集
- ・協力者名簿／編集後記

「魂を捨てたくなかったんでしょ？」

杉浦 良

「福祉系の大学を出て、老人福祉に携わっていました。なるべく利用者の立場をと考えてやってきたつもりですが・・・運営の事と両立するのって難しいですね・・・生活もあるし割り切って働けば？とか、長いものには巻かれる！ですよとか、色々同僚も気を使ってくれたんですが・・・なかなか割り切れなくて。お年寄りとあれこれお話ししながら、少しでも元気になる姿を見ると、なぜか嬉しいんです。現役だった頃の話を知っていると、中身の濃い人生論を聞かせてもらっているようで、それはこちら知らないことばかりで、こちらが勉強になるんです・・・仕事は好きなのですが・・・もう一度リセットするために、福祉士の資格を取ることを理由に、辞めました。」

たまたま見学させて欲しいとの理由で、話をすることになりました。パンフレットと機関紙をお渡しして、ちょっと変わった福祉の在り方を伝えること20分、今取ろうとしている精神保健福祉領域についてのイメージをお聞きしました。



写真で見る30年◎頂いた品物の仕分け・値段付け・陳列準備の作業。今から12年くらい前。

「今までは老人福祉だったので少し戸惑いはありますが、しっかり勉強しようと思っています。」

「老人福祉って、今までその方が生きてこられた人生をひも解くように寄り添って、そこから最後の人生が少しでも満ちるように手助けが出来れば、素晴らしいものになるよね・・・お年寄りの現役の頃の話、こちらでも勉強になるからと話が聞けること自体が、◎だよな・・・でも精神保健福祉領域の方は社会に出る前に発病された方も多く、社会人としての真ん中の部分が飛んでしまっている場合もあるので、話を聞かせてもらっても社会性がマシュマロみたいで、なかなか捉えどころがないとか・・・、そのあたりは随分戸惑うかもしれないね。真ん中の部分をどうするか？という課題もあるし・・・」

ちょっと偉そうな物言いになりかけたところで「・・・でもせつかく部下もいるようなポジションを辞めるの、勇気がいるよね・・・」

「・・・悩みましたが、長いものに巻かれることも、割り切ることもできなかったんです・・・」大きく目を見開いて、そう語る横顔に、後戻りの出来ない厳しさが感じられました。そしてしばらくの沈黙がありました。

「魂を捨てたくなかったんでしょ？」

その言葉が響いたのか、大きく頷きながらひと呼吸すると、能面のような表情が崩れ、言葉が次へ次へと繋がりました。話している言葉に勢いがつき、一つ一つに思いが込められ、今までの歩みを確認するように言葉が放たれました。捨てられないこの思いの存在を理解してくれる方が、なかなか周りにいなかったのでしょうか・・・この先、過酷だけれども、自分で決めた選択だったことは間違いありません。話をうかがった私も何やら嬉しくなって、昔懐かしい景色を見ているようでした。厳しいけれど、幸多きことを願いました。

(日々日常をつなぎ合わせたイメージ論です)

専任スタッフ 募集します

- ①職種 専任職員(常勤・契約)(雇用期間の定めあり)
- ②仕事の内容 様々なハンディを持った人たちとの共働作業によるリユース・リサイクル業務全般、及びソーシャルワーク
- ③就業場所 太陽と緑の会事務局(徳島市国府町南岩延字小原 107-1)
※現在遠方にお住まいの方は、月の宮共同生活棟での生活も可能(個室)。
(現在4名が生活中。最低限の什器備品はそろっているため、身の回りの物だけで入居することも可能。個人的に必要なものは、後からリユース品で購入することもできます。通勤は当会所有の軽バン車を使用)
- ④就業時間 午前10時～午後7時
- ⑤学歴不問 普通運転免許必要(「AT限定」でない方が望ましい)
- ⑥休日 水曜日(定休日)、及び当会規定による
- ⑦マイカー通勤可(駐車場有)
- ⑧選考方法 書類選考(履歴書(写真添付)、志望動機(800字)提出)、面接
- ⑨選考日時 随時
- ⑩担当 杉浦 小山(お問い合わせは、お電話もしくはメールでお願いします)
※採用コンセプトについては本機関誌5ページ参照

お知らせ

東日本大震災支援 第5回おおたか静流 チャリティライブ

10月16日午後7時より、徳島市般若院にて、「おおたか静流チャリティライブ5th」を開催。おおたか静流さん、Keijuさん、慧奏さんによるこのライブ、5回目となる今回は170人の皆様が来られました。

太陽と緑の会からは当日スタッフ7名とメンバーの富開さんが参加し、会場設営、受付から撤収・後片付けまで、微力ながらサポートさせて頂きました。

皆様から寄せられたチャリティ22万3000円(うち、おおたか静流さんよりご提供頂いたCDの販売金5万5000円)は社会福祉法人ありのまま舎(仙台市)に送金し沿岸部の在宅難病患者の皆様の支援に役立てられます。5回のチャリティライブによる支援総額は105万2274円となります。

(東日本大震災への支援としては、上記以外に、太陽と緑の会単独で、日赤へ18万8780円、ありのまま舎へ130万8563円(メンバー米田さん詩集販売義援金1万4000円含む)を送金しており、これらを含めた支援総額は254万9617円となります)

※また般若院に設置して下さっている募金箱から当会へ3万8704円のご寄附を頂戴しました。大切に活用させて頂きます。ありがとうございました。

見学・研修

6月5日 あわ地域若者サポートステーション体験実習受入3名

8月28日午前11時～12時 国府支援学校保護者2名来所見学

8月30日午後1時～2時 徳島県内の作業所関係者12名来所見学

9月4日～5日10時～17時、徳島文理大学2年生(福祉専攻)の黒田さんが太陽と緑の会にて体験実習。

(徳島県社会福祉協議会「平成26年度福祉職場体験事業」)

9月11日10時30分～12時30分 徳島自閉症協会6名来所見学。

10月9日、10日、国府中学校2年生3名の皆様が職場体験実習。

10月20日～24日、国府支援学校高等部3年生1名が職場体験実習。

県職員 NPO 研修

9月29日、30日、2日間に渡り、太陽と緑の会にて徳島県職員・NPO法人短期体験研修を行いました。

県職員の皆様が県内のNPO法人の活動に実際に参加するとともに、ディスカッションを行い、相互理解を深めるという趣旨のこの研修も今年で4回目となりました。

今回は病院の看護師・事務職員、保健師、自然環境戦略課、河川振興課など、様々な職種・部署から過去最多の8名の皆様(男性2名、女性6名)が参加して下さいました。

講演等

7月5日 杉浦講演(社会福祉法人ハートランド・お弁当 製造販売 Start 15周年記念「あの日 あの時 僕たちが 思い描いた未来」)

7月12日 徳島県障害者地域共同作業所連絡協議会研修会(東部支援センターちゅうりっぷ グループホーム)杉浦が事務局として参加

9月3日 杉浦講演「私の福祉活動の原点」 香川県隣保館職員相談援助(PSW)研修(於：四国学院大学)

スタッフ雑感 (Facebook より)

皆さん、こんにちは。回収担当の桑内です。

回収当日の話をさせていただきます。回収はハンディを持ったメンバーと一緒にトラックでお伺いします。メンバーと一緒に行かなければ、ただのリサイクル屋になってしまいます。

また、回収先の方もメンバーがお伺いすることがなければハンディを持った人がお家に入ることはない場合が多いかと思えます。

一般的にはハンディを持った人は支援されるだけの立場というイメージがありますが、回収先にお伺いしたメンバーはそうじゃありません。

彼らが活躍をするのです。量が多かったり、マンションやお品物のある場所からトラックまでの移動距離があったり、重い物があったりすると有難いんですが、正直大変です。

でも、メンバーと一緒に頑張って運ぶとお客様に感謝されます。もちろんメンバーにも直接「有難う、助かった。大変な思いさせてゴメンね」などと声をかけてくださることもあります。

支援されるだけの立場である彼らが感謝されてる、つまり社会貢献をしている。ここに1つの大きな意味があると思います。(専任職員・桑内一典)



トラックで各ご家庭にお伺いし、ご不用となった品物を頂きます(回収作業)

専任職員 募集コンセプト

NPO法人太陽と緑の会は、1984年以來『人も物も活かされる街づくり』をコンセプトに、様々な活動に取り組んできました。地域福祉・障害者自立支援、リユースリサイクル・環境保全活動、ボランティア・青少年育成社会教育活動、国内外で活動する団体・個人への支援活動といった4つの側面をリンクさせている点が珍しいと言われますが、逆にだから分かりにくいとも言われます。

「活動を分かりやすく一言で言ってください」とよく言われますが、「一言では言えない活動です」と最初に言うことにしています。

この活動を始めるにあたってのイメージを綴ると「様々なハンディーのあるメンバーたちが、地域の中で顔が見える立ち位置で、地域の方々にとっても必要な作業（活動）を通して、その人なりの足で立てるように、お互いに支えあいながら、地域の方々にも支えられ、それを行政も支援することで、地域で暮らしていけるようになれないか？そんな顔の見える日常活動の持続が、そこに暮らす老若男女にとっても住みやすく、豊かで、費用対効果も高く、持続可能な社会につながっていくのでは？」そんな言葉になります。

これを読んでますます訳が分からなくなった方もおられるかもしれませんが、学校を卒業しても一般就労では対応しきれないハンディーあるメンバーたちに、特別な福祉の世界で対応したり、支援する側される側といった枠をなるべくつけずに、様々なハンディーあるメンバーたちがそれぞれ補いながら、その人なりの作業（仕事）を持続可能な形でおこない、やれない部分をスタッフがすることで全体として活動が成り立つ在り方を模索しています。

メンバーを支援することでスタッフの給料を成り立たせずに、市民や行政の協力を得て、メンバーがやれる作業をそれぞれ行い、どうしてもやれないところをスタッフが行うことで全運営費の8割を捻出している、自立型次世代NPOモデルといってもいいでしょう。

もう少し別な角度で、私たちの活動をまとめてみます。

太陽と緑の会は、障害者地域共同作業所等（2箇所）と共同生活棟の運営、リユース・リサイクル活動（環境保全活動）、青少年育成・人権教育・社会教育活動、福祉事業団としての支援活動など、様々な側面を持つ、有機的、多面的な活動を行っています。

作業所の運営費（2箇所）など公的資金（税金）を、年間1000万円程頂いております。多いと思われる方がおられるかもしれませんが。

しかし、私たちの活動を一般的な障害者支援に換算すると約5000万円、ゴミ処理費としては約1900万円、支援事業が約100万円、青少年育成・人権教育・社会教育活動経費は、約600万円の必要となります。お金の側面だけで見ると1000万円の公的資金で、7600万円の活動を行っていることとなります。

一般市民の方々の支えを頂き、様々なハンディーを持ったメンバー達がそれなりに頑張り、いろいろな形でボランティアの方々のサポートがあり、それを行政が後押しすることで、ここでの活動が成り立っています。

これは、日本の次世代型ソーシャルアクションモデルになるのではと思います。このような活動のあり方が、徳島の将来や日本の未来に、本来の豊かさをもたらすのではと考えます。

これからの自分の生き方を模索したい方、ちょっと変わった福祉の在り方に取り組みたい方、なかなか魂が捨てられない方など、大歓迎です。共同生活棟にて環境に配慮したライフスタイル提供ができます

（個室）ので、ぜひ応募下さい。地方都市ゆえに普通免許が必要です（ATでも可ですがMTが望ましい）。

代表理事 杉浦 良

当会の活動をご支援下さった皆様

§ 2014年8月1日～2014年9月30日 § (紙面の都合上、敬称は略させていただきます)

ご寄付を下された皆様

匿名、匿名、柴田、服部、大和、山田、西谷、板東、植岡、般若院募金箱、谷

品物を引き取りにお伺いさせて頂いた皆様

○徳島市○森本、上村、松田、宮本、井上、小泉、藤永、Dコム、藤井、内藤、宮島、岡田、サロンビバー、中原、松原、圓藤、一丸、森耳鼻科、白根、正木、つるや洋品店、篠原、川瀬、青木、庄野、武岡、月華堂、川人、鉄野、太陽堂薬局、森、大北、村井、水谷、加藤、桑島、藤原、工藤、川道、渡辺、木下、河野、久保脇、三宅、桐川、川原、林、池口、松内、前川、鳴門屋、米田、原、バーリーフ、富永、橋、徳島市農協機械化センター、山本、田中、西尾、神野、小川、椎野、服部、野村、佐藤、鈴木、上浦、ファミリーマート富田橋店、寺尾、野口、西岡、大村、小松、三原、中山、長浜、富士谷、藤峰、今津、川内、谷川、根形、福田、鬼頭、佐川、安芸、竹内、増田、西田、鶴島、谷、板東、金品、大塚、村松、富岡医院、野々瀬、武田、河原、矢間、山上、先山、中村、中田、小渡、藤本、松本、西、鎌田、西木、坂本、金子、村島、上田、柳本、西本、仁木、浜川、田所、林、中井、山口、塚井、粒山、雲財、宇治、山田、原田、ひかり協会、富永、板東、田岡、川人、吉岡、尾崎、小泉、江上、小山、増金、元木、西谷、サントール徳島、郡、末岡、黒木、谷、伊川、吉成、戎、平田、倉田、西野、島田、長尾、八木、木村、臼杵、池永、井口、高島、梶原、チケツト徳島、吉野、中野、丸山、三木、幸田、芥川、土居、建祥会グループホーム、ヒコタ、清水、立石、井高、岩見、大和、田村、三谷、くしカツ石原、阿部、竹岡、福住、蔵屋、長谷部、新居、上野、安藤、岸川崎、行部、矢崎、坂野、大寺、竹中自転車、赤石、羽柴、岡山、川原、井原、近清のり店、秋月、橋本、西山○石井町○河野、矢野、瀧川、長尾、田村、秋岡、臼杵、さくら保育園、石躍、多田、北林、桜井○北島町○中野、結城、菖蒲、国方、村上、吉田○鳴門市○本庄、久龍、大西、長尾、米田、森、岩田、山本○阿南市○久米、中山、東根、山本、葉田、天羽○神山町○安井○藍住町○久保田、奥村、日下、中西、西岡、平井、上田、瀬本、森松村○小松島市○木下歯科、岩本、大岸、内藤、下山○吉野川市○石川、宮本、林、立川、益田○板野町○美馬、吉川、吉本、関本○阿波市○横山、服部○上板町○逢坂

品物を持って来て下さった皆様(郵送含む)

○徳島市○岩村、早淵、清水、川崎、森、中野、横田、岡島、生野、白鳥、笹田、島野、土居、桂、小倉、有田、工内、宮本、重田、筒井、森、鎌田、久保、楠野、森本、近藤、戸村、竹林、鈴江、川原、武中、多田、岡村、坂本、寒川、山橋、岩崎、森川、生田、西田、松本、牧野、篠原、植木、井上、小林、泉田、上山、竹内、山田、原田、北江澤田、大内、櫛山、伊沢、財田、山本、桑原、中山、大上、杉内、中村、林、上田、高橋、中平、和田、尾上、久次米、栗田、宮城、岩田、榎木、渡辺、百々、マクレッド、郡、加藤、後藤田、志賀、二宮、播、堀川、芝井、阿部、小出、内田、安藝、大井、福田、浦松、木本、後藤、西本、荒井、竹田、第一病院、日下、山下、高木、佐々木、矢本、見定、美馬、村上、宇野、新城、小迫、角田、福永、友竹、宇山、原、リサイクルパワー、岩野、岸田、中園、長楽、吉田、団、相原、ジョナサン、西野、森口、高瀬、平石、武田、浅川、木下、松田、大北、河野、岸本、矢藤、川上、荒川、関東、東、バスミン、上野、平山、木村、徳川、芝、徳島通運〈株〉民、重井、富永、秋田、岡本、富登、楠本、西川、中津、真樹今獅々、元木、塩田、増原、大松、〈株〉たぬきやホームネットワーク、朝桐、地面、正木、上浦、栗尾、長谷川、白木、佐藤、辻本、蒲、片山、井原、北畑、須見、大門、杉浦、喜多、東條、井高、山口、萬木、境、田村、井東、尾花、南、朝日、神下、藤黒、月岡、サバル、沖洲ほっとチャペル、中島、高部、楠瀬、富登、小笠原、栗林、森田、米原、長田、井形、渋谷、谷、竹崎、細井、大坂、梶村、西林、小堀、河上、藤川、笹盛、大和、原、阿地、湯川、岡崎、土井、谷川、福良、上藤、松浦、

樋口、北、新居、厚美、乾、田中、吉成、井高、有本、板東、富平、津川、真鍋、具志、片岡、松橋、齋藤、四方、岸野、岡、六田、矢和田、飯盛、本尾、吉村、志摩、山中、岩見、宮崎、稲垣、朝川、森下、石岡、西浦、藤本、白川、沖野、大隈、村本、杉原、中村、竹中、野村、浜、高橋○鳴門市○土井、正木、大浦、富久、疋田、細川、佐々木、大石、松田○藍住町○土井、大下、井上、平野、山本、河野、浅川、横田、横田、高原、寺内、岸本、横田、広瀬、高原、片岡、松崎、森本、原田、坂本、上西○吉野川市○幸元、宮嶋、北浦、山尾、平島、石田、鴨島東中学校、中野、片岡、富本、佐藤、辻○北島町○吉楽、泉、郡築、広瀬、尾田、平池、石井、安藤、今市、河野、津川、谷山、河野○石井町○堀井、平岡、小倉、久長、川人、井内、駒田、藤本、福田、篠原、伊勢、脇谷、中東、藤重、木全、矢野、遠藤、尾崎、柴田、久保、富山、宮城、大石、井上○上板町○笠井、三船、赤松、山田、松本、河野、平田○小松島市○宮田、伊勢、木村、藤田、岡部、片岡、吉岡、芝原○阿波市○松浦、小川、有井、植木、近藤○板野町○松村、中原、吉川、谷口○美馬市○森本、広川、近藤、加藤○阿南市○井上、保田、吉成、志賀、佐野、友成○松茂町○千葉、三好○牟岐町○宮内○東みよし町○滝下○神山町○下原、宮田○福岡県○永峰○大阪府○藤田○兵庫県○太田○岡山県○高橋○埼玉県○本田○京都府○小暮○香川県○原、香川県隣保館連絡協議会、佐藤○東京都○飯田、小山○静岡県○戸倉

いつも当会の活動にご支援ご協力頂き、ありがとうございます。

品物を持って来て下さった皆様の中には、「何回も来て、書いているので」「名前は結構ですから」と、お名前を書かずに帰られた方も多数おられ、実際は上記の3倍以上の方のご協力を頂いております。

またみかんを差し入れて下さった多田様、お米、スタチ、サツマイモ、菓子パンなどを持って来て下さった皆様にもこの場を借りてお礼申し上げます

(食材は昼食の材料としても活用させて頂いており、大変助かっています。以前「去年とれた古米なのですが何かに活用できますか」と持って来られた方がいらっしゃいましたが、有難く食材として使わせて頂きました。当会では昼食のごはんのお替りができるようにしており、お米の消費量が多いのです)。

頂いた品物は大切にリユース・リサイクルし、障害者の支援、ボランティア育成、他団体への支援などに役立てています。リユース・リサイクル可能なものがございましたら、ぜひお電話下さい。



写真で見る 30年◎事務室兼面談室(平成9年3月)。

平成8年、作業所開所12年にしてようやく職員の社会保険加入を実現、事務・会計のシステム整備も行いました。太陽と緑の会の作業所は補助金ゼロで何も無い所からのスタート。リユース品を使えるものはできるだけ使い、リユース品で入ってこない物については、職員の給料を削って備品購入に充ててきました。

エアコンはなく、夏は書類が飛ぶため扇風機すら回せないことも多かったのですが、平成8年夏、ようやく設置することができました。印刷機は高額だったため、故障した印刷機を杉浦が修理整備しながら使い続けてきましたが、平成8年4月に共同募金会の配分金を頂くことで新品を購入することができました。

編集後記～「芽吹いていない想い」

知的ハンディを持つAさんは共働きの両親と一緒に戸建ての家に住んでいる。6畳の個室にはゲーム機のプレイステーション3、テレビも完備。毎日自転車で通って来るが、「眠い」「疲れた」時には、お母さんが車で送り迎えをしてくれることもある。

靴底がはがれて靴が履けなくなり、リサイクル作業所のリユース品でサイズが合うものがあつたので買うことになった。自分の給料で支払うかと思ったら、「親に出してもらおう」とのこと。

「いい年して、親に出してもらおうん？靴くらい自分で買ったら？」と年配のメンバーから突っ込まれると、「俺の年金があるもん」と返してくる。

Aさんと障害の程度も年齢も同じくらいのBさんは無職の伯父さんと2Kのアパートで2人暮らし。障害基礎年金は母が管理している。

靴を1足しか持っていなかったため、雨で靴底の穴から水がしみ込んでくると靴下なしで濡れた靴を履き続け、すえた臭いを漂わしていた。上着のシャツは2枚しかなく、洗濯した1枚が乾かないと、残りの1枚を汗と汚れでベタベタになったまま着続けた。秋が深まっても半袖1枚で「寒くないよ」と震えながら強がって見せる。風呂に入らず、服も着替えず、そのまま寝る。掛け布団の襟元は穴が開いて、中綿まで真っ黒。

NPO法人 太陽と緑の会

私たちは、「人も物も活かされる街造り」をテーマに、ハンディーのあるなしに関わらず「地域の中でその人がその人の足で立っていけること」を目指し、様々な方々（市民、ボランティア、行政）の支えを頂きながら年間300日、土、日、祭日を含めた日常活動を行っています。

これは、日本の次世代型ソーシャルアクションモデルになると考えています。このような活動のあり方により、徳島の将来や日本の未来が、幸多く、豊かであることを願っております。

家での食事は、白ごはんにマヨネーズやソースをかけただけ。伯父がスーパーで買ってきた鶏のから揚げ数個、パック詰めの刺身数切れがおかずになることも。髪は伸び放題。季節の変わり目には、必ず風邪をひくが、風邪薬はない。

リサイクル作業所に通うようになって、そういった生活も少し変化した。昼食は①作業所が外部の業者さんに頼んでいる給食（おかず弁当）、②お客さんから頂いたお野菜も入れて作業所メンバーが作ったみそ汁、③栄養を考えて7分づきで精米したごはん2杯を食べる。

衣料品、靴は、当会で働いて得た給料で、リサイクル作業所のリユース品を買えるようになり、寝具も、50円コーナーの真新しい掛け布団、敷布団、タオルケットを買った。3点でたったの150円。新品でその暮らしは成り立たない。

厳しい生活環境で暮らしていても、生活とはそういうものだと思っている、あるいは、厳しすぎてあきらめている。

まだ芽吹いていない「想い」を少しずつ、根気よく紡いでいく。生活が変わり定着して初めて自身も気付く「想い」を。すべてはそこから始まる。正論だけでは変わらない現実がある。（文責・小山）

（事例は当会の活動内容をイメージして頂くために、日常の取り組みを紡いだものであり、ある特定の事例を指すものではありません。）

発行：特定非営利活動法人 太陽と緑の会

〒779-3120

徳島県徳島市国府町南岩延107-1

TEL・FAX 088-643-1054（事務局）

088-642-1054（リサイクル）

URL <http://www.t-midori.org/>

E-MAIL t-midori@jeans.ocn.ne.jp

代表理事 杉浦良 編集 小山 隆太郎
データ入力・製本・発送 岡田 福住

年会費：正会員1万円 準会員1,000円

郵便振替口座：01620-8-44703